

# 少年サッカーリ

ヘッディングの指導  
ゲーム中得点のケー  
スでヘッディングによる確率は非常に高いものである。また守備の場合ではクリアーハッディングに強くなることによつて守備率も高くなる。そこでどんなヘッディング指導が必要になるか考えなければならない。

場に応じたヘッディングができる

常に前方同じ強さでか  
ルを前方同様に回る

ことが基本である。ジヤンプした時もしかり。へその位置もゴールの方向を示すことでい方向へ、強さを考える。ボールをぶれさせることが大切である。セリ合いのヘッディング  
ゲーム中フリーでヘッディングさせてくれることは非常に少ない。常に敵の中で相手とせり合つながらヘッディングをすることになる。その場が多いのだからことせり合いの場面を考えた練習を多くすべきである。

目で打てる。ボールに目をぶつけようにして打つことが必要である。目をボールにぶつけることによつて正しくひたいに当たり、正しい方向にとぶ。

弱いボール 強いボールを打つ区別を

ボールを強く打つ練習と、弱く打つ練習を常にミックスして練習することが大切である。



ヘッディングの強い  
人はかならずしも身長  
の高い人ではない。ボ  
ールをとらえる点でタ  
イミングよくとらえら  
れる人である。タイミ  
ングによつて身長二十  
センチ位のハンデを消  
すことができる。

頭でボールをとめる

頭でボールをとめら  
れる位のコントロール  
が必要である。試合中  
にはボールを頭でのボ  
ールコントロールがあ  
れば、非常に役立つこ  
とが多い。

ひたいだけで練習する

な

ヘッディングは頭の  
どの点でもよいわけで  
あるから、特に二人、  
三人のヘッディングゲ  
ーム中は頭のあらゆる  
地点を使って練習する  
とよい。

日本サッカー協会  
五十二年度の事業  
が発表された。新  
事業計画として今  
大会の新設や、今  
規模のサッカーフ  
ティバルの実施  
月十日(一)全日本の  
欧州遠征等の重要事  
があり、その成果  
待される。

## 昭和52年度 日本サッカー協会 行事案決まる

日本サッカー協会指導普及事業					
① サッカーカーニバル	4月10日	於 各地	⑥ 第11回全国少年サッカー大会	於 東京	
② サッカー少年団指導者講習会		於 東京		8月5日～10日	よみうりランド
運営	7月26日～28日	於 東京	⑦ ユース（高校生）地域対抗戦	於 トヨタ	
技術	7月26日～30日	於 新潟県		8月23日～29日	スポーツセンター
	8月22日～26日	於 広島県	⑧ ミニサッカー招待試合	53年2月	
	8月22日～26日	於 北海道	⑨ 1級審判認定講習会	第一次 4月～6月	
	7月26日～30日	於 九州		第二次 7月	第三次 10月～11月 ↓ 関西
③ サッカー少年団員技術講習会	4月～12月		⑪ 全国1級審判員研修会	6月 53年2月	於 東京
	4月～12月	於 各地	⑪ 全国地域審判指導員研修会	6月 53年2月	
④ ヤングフットボーラーの実態調査	4月～12月	於 各地	⑫ 地域審判委員長会議	53年3月	
⑤ コーチングスクール	前期 7月15日～29日	於 トヨタ	⑬ 2級審判員指導育成講習会	8月	
	後期 12月5日～19日	スポーツセンター	⑭ 公認指導者研修会	各種大会開催時	

国際試合及び海外遠征

- | 国内試合ならびに大会                |                 |                | 国際試合及び海外遠征         |                    |              |
|---------------------------|-----------------|----------------|--------------------|--------------------|--------------|
| ① 第57回天皇杯全日本サッカー選手権大会     | 都府県大会 4月1日～8月末日 | 於各都府県          | ① ワールドカップ予選(1次対韓国) | 4月3日               | 於 韓国ソウル      |
| 地区大会 9月1日～11月20日          | 於各地域            | ② 第19回アジアユース大会 | 4月14日～29日          | 於 イラン・テヘラン         |              |
| 決勝大会 12月10日～1月1日(53)      | 於東京他            | ③ 第4回日韓リーグ対抗   | 5月下旬               | 於 東京               |              |
| ② 第2回JSLカップサッカー選手権大会      | 4月上旬～5月上旬       | 於 各地           | ④ 国際試合             | 6月10日～17日          | 於東京他         |
| ③ 日本サッカーリーグ1部             | 9月11日～12月4日     | 於各根拠地          |                    | 8月28日～9月4日         |              |
| 日本サッカーリーグ2部               | 9月4日～11月6日      | 於各根拠地          |                    | 53年2月下旬～3月中旬(日ソ交流) |              |
| ④ 第11回全国自衛隊サッカー選手権大会      | 4月28日～5月3日      | 於東京・千葉         | ⑤ 第6回日韓定期戦         | 6月上旬               | 於 韓国・ソウル     |
| ⑤ 第19回全国教育系大学サッカー研修大会     | 7月～12月中旬予定      |                | ⑥ クワフルネル・リベイラ大会    | 6月17日～26日          | 於 ユゴスラビア・リエバ |
| ⑥ 第1回全日本大学サッカー連盟杯争奪大会(仮称) | 7月25日～31日       | (予定)於 静岡       | ⑦ 全日本代表欧州遠征        | 6月末～8月中旬           |              |
| ⑦ 昭和52年度全国高校総合体育大会(サッカー)  | 8月1日～8日         | 於 岡山           | ⑧ 日本ジュニア代表ソ連遠征     | 7月10日～8月10日        |              |
| ⑧ 第8回全国中学生サッカー大会          | 8月16日～20日       | 於 大宮           | ⑨ 第21回ムルデカ大会       | 7月15日～8月7日         | 於 マレーシア      |
| ⑨ 第6回全国自治体サッカー大会          | 8月20日～25日       | 於 秋田           | ⑩ マラハリム大会          | 3月下旬～4月上旬          | クアラルンプール     |
| ⑩ 第10回全国高等専門学校サッカー選手権大会   | 8月24日～27日       | 於 郡山           | ⑪ 第1回ワールドユース大会     | 6月27日～7月10日        | 於 チュニジア      |
| ⑪ 第32回国民体育大会サッカー競技        | 10月2日～8日        | 於 青森           | ⑫ ワールドカップ予選(2次)    | 8月1日～11月30日        |              |
| ⑫ 第13回全日本社会人サッカー大会        | 11月26日～30日      | 於 関西           |                    |                    |              |
| ⑬ 第26回全国大学サッカー選手権大会       | 11月30日～12月4日    | 於東京外           |                    |                    |              |
| ⑭ 昭和52年度高等学校サッカー選手権大会     | 地区予選 8月下旬～11月中旬 | 於 各地           |                    |                    |              |
| 本大会 (53年) 1月1日～8日         | 於東京他            |                |                    |                    |              |

① ワールドカップ予選（1次対韓国）  
4月3日 於 韓国ソウル

② 第19回アジアユース大会  
4月14日～29日 於 イラン・テヘラン

③ 第4回日韓リーグ対抗 5月下旬 於 東京

④ 國際試合  
6月10日～17日 於 東京他  
8月28日～9月4日  
53年2月下旬～3月中旬（日ソ交流）

⑤ 第6回日韓定期戦 6月上旬 於 韓国・ソウル

⑥ クワルナル・リペイラ大会  
6月17日～26日 於 ヨーゴスラビア・リエバ

⑦ 全日本代表欧洲遠征 6月末～8月中旬

⑧ 日本ジュニア代表ソ連遠征 7月10日～8月10日

⑨ 第21回ムルデカ大会 於 マレーシア  
7月15日～8月7日 クアラルンプール

⑩ マラハリム大会  
3月下旬～4月上旬 於 インドネシア メダン

⑪ 第1回ワールドユース大会  
6月27日～7月10日 於 チュニジア

⑫ ワールドカップ予選（2次）

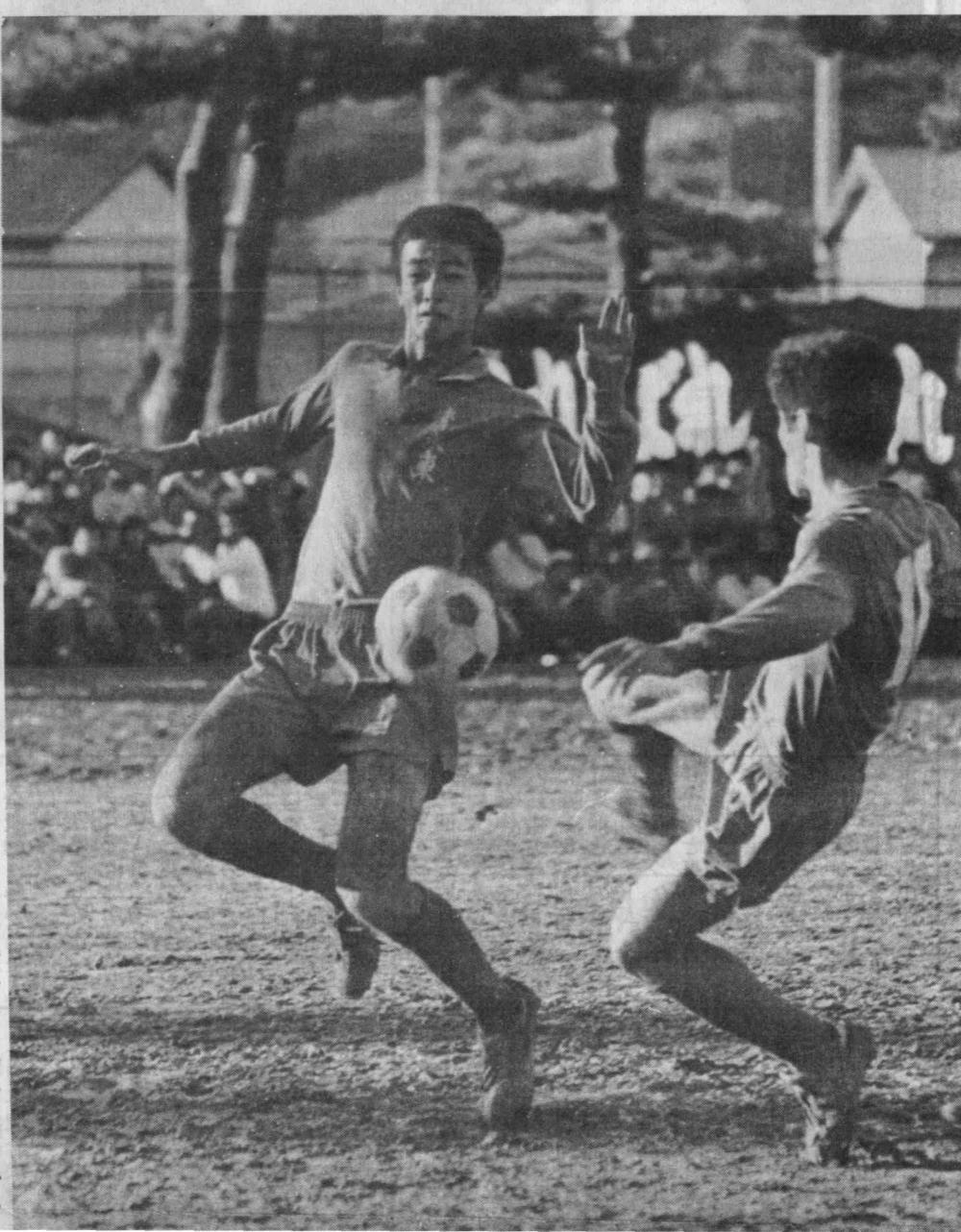
8月1日

- | 強化合宿 |   |
|------|---|
| ①    | 日本代表<br>第1次 6月上旬<br>第2次 53年2月下旬～3月中旬  |
| ②    | 日本代表 (ジュニア)<br>第1次 (大学選抜) 5月下旬 (日韓)<br>第2次 6月下旬 (10日間)<br>第3次 7月上旬 (10日間)                 |
| ③    | 日本代表 (ユース)<br>第1次 4月上旬 第2次 6月中旬<br>第3次 12月下旬 第4次 1月下旬<br>第5次 2月下旬 第6次 3月上旬～中旬<br>第7次 3月下旬 |

藤枝市で開催された第九回静岡県サッカーリーグ少年団大会は上位独占かと期待され、いた清水の小学生、四チームが次々と敗退して、藤枝勢で優勝が分けられたが、中学生の部では清水六中が初出場で優勝し大会の幕を閉じた。十周年を迎える来年の大会は清水市で開催されるが、地元チームに期待しているという多くの人が、清水の小学生チームを暖かく見守ってくれている。第十回大会に期待したい。◆予想外の異状寒波が日本列島の上空から動かないのと天気予報は春の訪れる遅れを知らせてくれてはいるが、まだこの地方は恵まれている。二月二十三日の新聞紙上での各地の気温は静岡が九・六度、沖縄の十三度に次ぐ日本列島では二位の暖かさである全国各地からの依頼で郵送している本紙の愛読者の中には豪雪地域の方も多くいるので、紙上でお見舞申し上げたい。お体に気をつけて下さい。(二本木)

# 静岡ユースサッカー THE YOUTH SOCCER

# 静岡県高校選抜手ご馳走大会



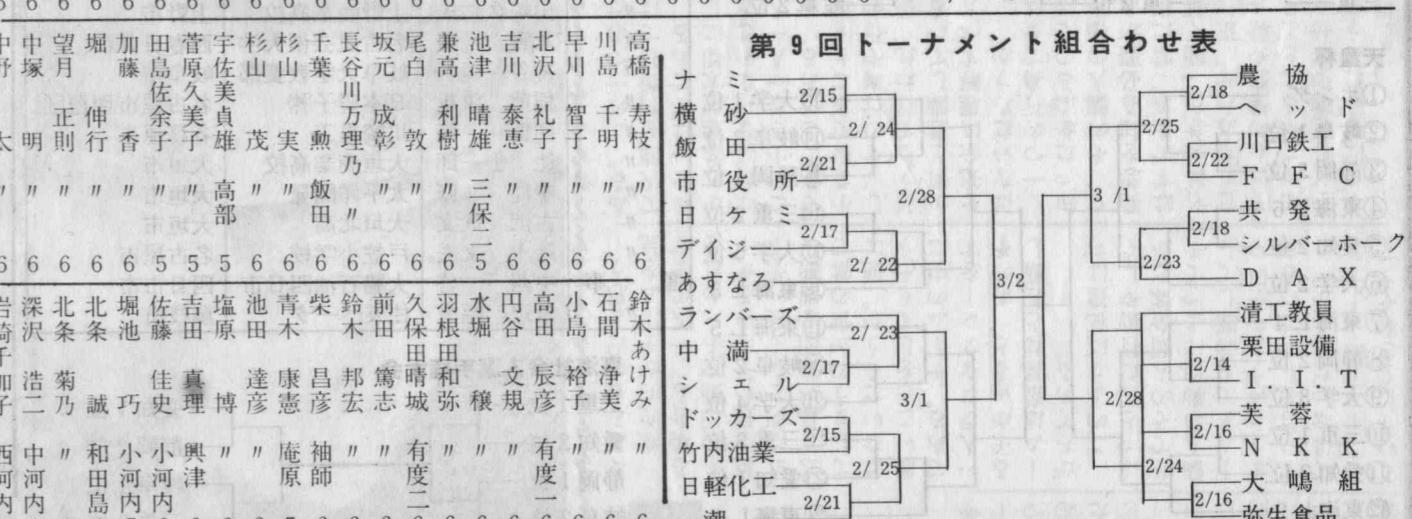
△ 釜山選抜高校、第二戦は同二十八日、大邱、啓聖高校、  
▽ 第三戦は大新高校と行われる。

静岡放送SBS創立25周年記念行事高校サッカーチーム海外遠征計画は昨年末より準備を進め、二月に行われた新人戦の結果から二名の選手を選考、三月二十三日より三十一日まで釜山、ソウル等で行われるが、このたびメンバーが決まった選手の世話をするの選手は県下全般的に美和の三名、計六名の指導者で構成される。選手は県下全般的に化につなげる方針であります。スタッフもそのまゝ連勝をめざす国体少年の部の指導員強化部として52年度の国体少年の部の指導員であることになつて、青森国体をめざして強化する。

## 清水の集計発表

# 海外遠征の

SBS 25周年記念



昭和52年2月19日 静岡県招待サッカー選手による少年サッカースクール

支部	少年団名	責任者	会 場	公認コ一チ	受 講 生	派 遣 手	
						全 静 岡	古 河 電 工
東部	沼津少年団	加藤真久	香陵G	加藤真久	小学生 120人	本田 川口	田辺 大柳
東部	吉原少年団	戸巻裕美夫	吉原小	高田青木	5.6年 400人	大畠	佐藤 鈴木 鬼塚
清水	入江少年団	増田昌弘	入江小	中島孝志	5.6年 80人	工藤・平木	川本・鵜飼
清水	有二少年団	石川克洋	有度二小	杉山隆一	4.5.6年 50人	井沢・伏見	須佐
清水	清水少年団	鈴木啓一郎	清水小	鎌田光夫	5.6年 80人	伊藤・松永	時田
清水	東海少年団	望月保次	東海小	望月保次	5.6年 100人	高田	淀川 塩屋
藤枝	藤枝市少年団	高橋 真	藤枝小	長池 実	5.6年 100人	堀井	外山宇南山
静岡	豊田中少年団	渡辺 繁	豊田中	井田勝道	中学生 40人	石川 杉山	木口 伊藤
志太	志太少年団	深津敏夫	焼津西小	碓井善治	5.6年 150人	市川	沢口 小糸
埴原	埴原少年団	山本 実	白彌小	宮本征勝	5.6年 100人	中村	桑原 清井

招待選手サッカーレッスンで千八百人！

二年目を迎えて行われた招待選手によるサッカーレッスンは各会場に静岡県にいる公認コーチによって行われ、少しがれで杉山隆一氏は有二会場でそれぞれ三百人の少年たちを前に見事な指導をした。

## 第九回静岡県サッカー少年団大会

## 四チームが優勝!

小学生の部 小学生・中学生とともに引分け

藤枝(藤枝) 0-0 稲葉(藤枝) 藤枝(藤枝) 0-0 清水六中(清水)

第九回静岡県サッカーフラッシュ 春日和に藤枝市民グラウンドで三位決定戦に統一決勝戦が行われ、

三日、快晴に恵まれた延長戦となつたが両軍

合とも引き分けで両軍の優勝が決まつた。

小学生の部の決勝は



来年の十周年大会は清水市で開催!

## 第二回興津川リーグ

## 六チームで白熱戦

倒的な攻撃ではじまり藤枝バツクもゴール前にくぎづけ、遠藤を中心としたマーチが、二回の大ビン

に山田、高橋にわたる攻撃は厚く、中盤を完全に支配していた。しかし遠藤から出たボルがフィニッシュで、延長も両軍の試合とも引き分けで両軍の優勝が決まつた。

このことが多く全て不発に終わり、前半7本のシ

た。ユートモールを握り、延長になつても枝のたてバスに六中、ツクのマークがあま

に山田、高橋にわたる個人技を生かした

攻撃は厚く、中盤を完

全に支配していた。

しかし遠藤から出た

ボルがフィニッシュ

で、延長も両軍の試合ともゴールをゆずら

ず、や、稲葉の押し気

味で前半終了。

後半は逆に藤枝の左

稲葉は初の優勝となつ

た。今年の大会はインフ

ルエンザの流行に合い

て、延長も両軍の試合ともゴールをゆずら

ず、や、稲葉の押し気